

6月のTLG (アメリカの天気)



アメリカ中西部は晴天に恵まれ、トウモロコシの生育も今年は順調です。この調子で育てばトウモロコシ農家は豊作に恵まれうれしい悲鳴というところですが、今年は貿易摩擦でトウモロコシの輸出も制限せざるを得ないようで、心配の種は尽きません。貿易摩擦の件は次回に譲るとして、今回はアメリカの急変する天候についてのレポートです。



道路もあまりの暑さに蜃気楼の一種「逃げ水」ができるほどですが、この暑さは時として嵐に急変します。

好天の中車を走らせること2時間、突然空は真っ暗になり、稲光とともに竜巻が発生しました。道路の先に真っ黒な渦巻きが見えます



幸いにして、この竜巻には巻き込まれることなく、無事シカゴに戻りましたが、この広大な土地に降る大雨こそ、コーンの育成には欠かせない大事な慈雨なのです。



(韓国編、GMと選挙)

韓国政府は7800億円のGM支援策を発表しました。これは関連企業を含む15万6000人の雇用を守るために、向こう10年間、GMは韓国を出ていかないという約束のようです。ただ、自動車業界は100年に1度といわれるパラダイムシフトの真ただ中にあります。私たちはそういう中、GM群山工場を訪ねましたが、工場ははすでに閉鎖していて外目には閑散としていました。1800人いた従業員は僅か40名が整理のために残っているだけで、工場周辺は荒れ果てていました。



この自動車と部品業界の急激なパラダイムシフトの中では、過去の延長で生き延びることができないことは明らかです。実際に、韓国の自動車生産数は毎月前年比10~20%減という状況です。私たちの自動車部品業界は韓国では不況業種に認定され、事業の継続が危ぶまれるところも少なくありません。



そういう中、韓国では文大統領の信任を問う地方選挙が6月中旬に行われ、与党の「共に民主党」が勝利して、文政権が信任されました。これにより、最低賃金の30%アップなどが継続されることになり、メーカーにとっては加工費アップなどの要因として課題を残すことになりました。韓国では今後競争力向上が絶対的な命題です。



韓国の地方選挙の様子、歌って、踊って、有権者に訴えます。動画で見たい方はYouTubeで、「韓国選挙」で検索してください。



千葉 房総の山(その2)

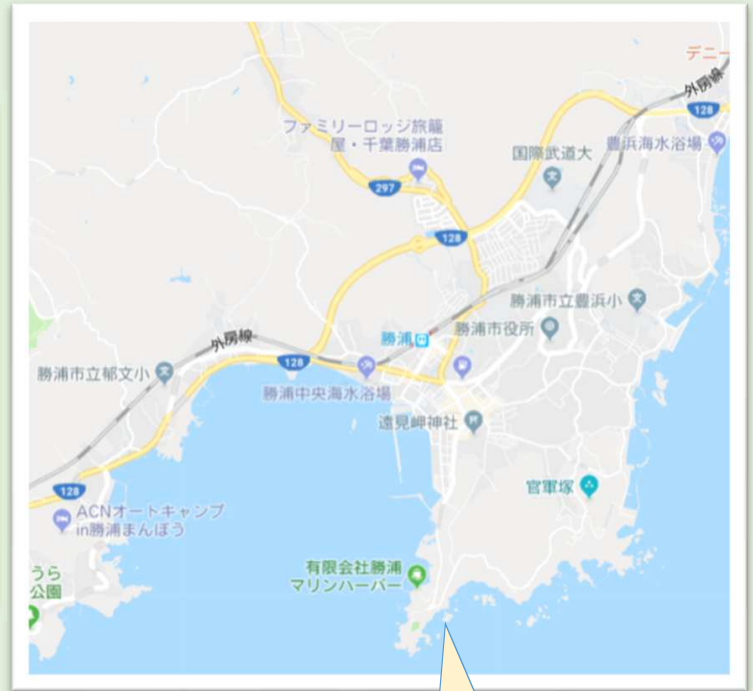
今回は千葉勝浦で、隆起した海岸線での発見です。



勝浦、八幡岬で見つけた貝の化石



ここに化石



勝浦の八幡岬



岬へ行く途中の道に、隆起した岩がありますが、そこにくっきりと貝の跡が見れます。この地層がいつごろのものなのかを調べるのもロマンがあっいいですね。

